ASCOT CORP.

平成 24 年 4 月 11 日

各　　位

会 社 名　株式会社アスコット
代表者名　代表取締役社長　加賀谷慎二
（JASDAQ：コード番号：3264）
問合せ先　取締役田端　悟
（TEL. 03-5363-8426）

業績予想の修正に関するお知らせ

当社グループは、最近の業績動向を踏まえ、平成 23 年 10 月 28 日に発表しました業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 平成 24 年 9 月期 第 2 四半期連結業績予想の修正（平成 23 年 10 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり当期純利益
前回予想（A）	1,650	60	△12	△13	△0 円 55 銭
今回修正予想（B）	1,900	7	△97	△97	△4 円 11 銭
増減額（B－A）	250	△53	△85	△84	
増減率（%）	15.2	△88.3	－	－	
（ご参考）前年実績（平成 23 年 9 月期）	3,789	359	106	124	5 円 38 銭

2. 業績予想の修正理由

（1）売上高

第 2 四半期連結累計期間における売上高は、前回発表予想と比較して 250 百万円増加し 1,900 百万円（前回予想：1,650 百万円、増減率：15.2%増）となる見込みであります。

主な要因として、不動産ソリューション事業の収益不動産開発における賃料収入（当社グループの保有物件での貸主からの賃料収受）が、テナント誘致の遅延により当初計画数値を下回ったこと、その他事業における不動産仲介業務収入等が、不動産取引市況の低迷を受け当初計画数値を下回ったものの、分譲マンション開発事業において「ASCOT PARK 東日本橋」の竣工引渡等の売上高が、当初計画数値を上回ったことにより、前回予想と比較して 15.2%増加しております。

（2）営業利益、経常利益、四半期純利益

第 2 四半期連結累計期間における営業利益は、前回発表予想と比較して 53 百万円減少し営業利益 7 百万円（前回予想：営業利益 60 百万円）となる見込みであります。

主な要因として、収益不動産開発における賃料収入原価（管理費等）が季節要因等により増加したこ

と、その他事業の不動産仲介業務収入にて当初計画外の業務収入原価が発生したことにより、売上総利益の当初計画数値を大きく下回ったことが影響しております。

販売管理費は、経常経費での継続的なコスト削減効果が表れ、当初計画数値と比較して 9.8%減少したものの、売上総利益での未達数値を吸収するには至りませんでした。

第 2 四半期連結累計期間における経常利益は、前回発表予想の経常損失額と比較して 85 百万円増加し経常損失 97 百万円（前回予想：経常損失 12 百万円）となる見込みであり、売上高から営業損失に至る要因が大きく影響しております。

第 2 四半期連結累計期間における四半期純利益は、売上高から経常損失までの要因ならびに特別損失に固定資産除却損を計上したことにより、前回発表予想の四半期純損失額と比較して 84 百万円増加し四半期純損失 97 百万円（前回予想：四半期純損失 13 百万円）となる見込みであります。

3. 通期業績予想について

通期業績予想につきましては、通期までに計画している収益不動産開発 2 物件の売却が、計画のとおり売却実現できると判断していること、その他事業の不動産仲介業務収入等が、第 2 四半期連結累計期間までの未達分を含め計画のとおり計上される見込みであること、販売管理費における経常経費のさらなるコスト削減の実行により、平成 23 年 10 月 28 日発表の通期業績予想を据え置くものといたします。

以　上

上記予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に与える不確実な要因に係る本資料発表日における予想を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる場合があります。